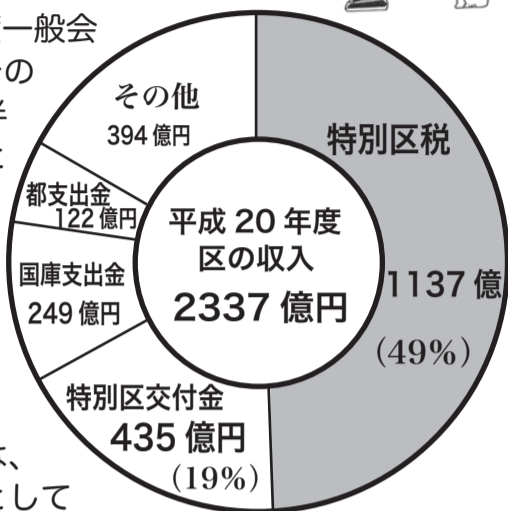




### 世田谷区の税金は誰が負担しているのか



●世田谷区の平成20年度一般会計予算は、2336億円。その歳入(収入)の内訳は約半分が区民が支払う住民税と呼ばれる特別区税です●特別区税は歳入の約半分(49%)を占める1137億円です●次に多いのが特別区交付金で435億円あります。



●特別区交付金というのは、本来なら世田谷区の税金として入ってくる「固定資産税」を23区でいったんプールして特別区税(住民税)が少ない区へ配分する仕組みです●言ってみれば23区の“助け合い制度”なのですが、近年“もらいど区”が固定化しており制度の廃止も叫ばれています●世田谷区民の支払った固定資産税が例えば足立区の財源としてずーっと使われているとしたら疑問に思うはず。

### 福祉の充実は豊かな区民とともに

支出トップは福祉系の862億円

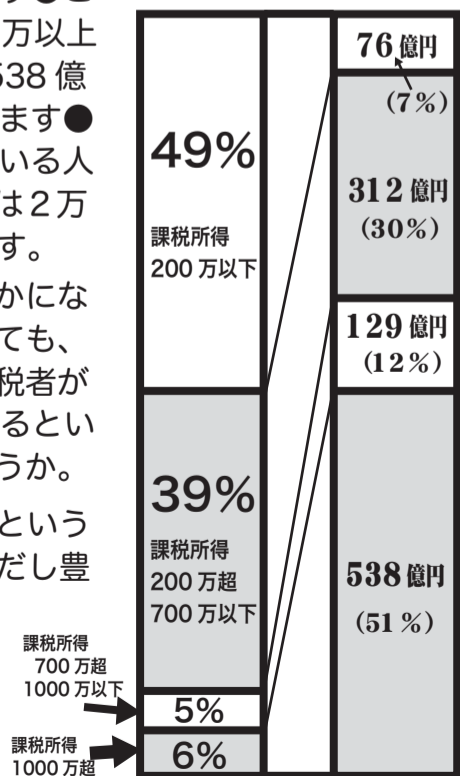
●ではこの平成20年度予算の2337億円は何に使われるのでしょうか?●トップは民生費と呼ばれる福祉系の支出で862億円。予算全体の3分の1以上(37%)●次が道路街作り整備等の土木費で405億円(17%)●3番目が教育費の328億円(14%)

### 住民税の内訳

●特別区税(住民税)の内訳の最も新しいのが平成18年度の資料。それを表にまとめたのが右下図●平成18年度の特別区税(住民税)は1055億円で平成20年度予算とは82億円ほどの差がありますが、傾向はほとんど変わっていないと思われます●これによれば課税所得1000万以上の区民が住民税の51%、538億円を払っていることとなります●世田谷区で住民税を払っている人は42万人ですから6%とは2万6千人ということになります。

●高額納税者が多ければ豊かになるということはわかっていますが、実際世田谷区で、6%の納税者が538億円もの負担をしているというのは意外ではないでしょうか。●お金持ちだけが住むまちということには絶対反対です●ただし豊かな福祉ということを考えれば豊かな区民に住み続けてもらうことも考えなければならぬと思います。

人数分布 税額分布



### トンでも議員続出



辞職勧告決議のあと7月3日に辞職。



夕方のTBSニュース

↓2007年5月23日読売新聞

### 世田谷・森区議 虚偽経歴 辞職勧告案可決へ

世田谷区議選でトップ当選した民主党・森学区議(38)が虚偽の経歴を選挙公報などに記載していた問題で、自民党区議団など3会派が22日記者会見を開き、辞職勧告決議案が賛成多数で可決される見通しを明らかにした。自民党区議団は「辞職勧告にとどまらず、公職選挙法違反(虚偽事項の公表)容疑による刑事告発の準備を進めている。会見したのは、自民、公明、せたがや政策会議の各会派。これを含め、生活者

世田谷区議選でトップ当選した民主党・森学区議(38)が虚偽の経歴を選挙公報などに記載していた問題で、自民党区議団など3会派が22日記者会見を開き、辞職勧告決議案が賛成多数で可決される見通しを明らかにした。自民党区議団は「辞職勧告にとどまらず、公職選挙法違反(虚偽事項の公表)容疑による刑事告発の準備を進めている。会見したのは、自民、公明、せたがや政策会議の各会派。これを含め、生活者

一方、民主党区議団は対応を決めかねている。稲垣雅由幹事長は22日、「最終的な態度は本会議で表明したい」としたが、森区議を除く大方の議員は賛成に傾いていることを明らかにした。会派としての態度決定は、本会議開会ぎりぎりにもつれ込むとみられる。森区議はこの日、同党区議団の議員総会に出席。その際、議員辞職や離党を行う考えのないことを告げたという。

同区議は元在ルクセンブルク大使館に勤務した当時、実際には3等書記官だったのに、外務省の制度で2等と名乗って活動することを許されていた。ところが、ボスターや選挙公報に1等と掲載。議会側には「勘違いしていた」と釈明している。

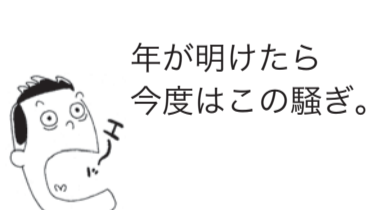
議団の議員総会に出席。その際、議員辞職や離党を行う考えのないことを告げたという。

刑事告発 自民検討



↓2008年3月17日日経新聞

↑夕方のフジ・スーパーニュース



わいせつ容疑で区議書類送検へ

選挙運動を手伝っていた女性にわいせつな行為をしたとして、警視庁捜査一課と玉川署は十七日、東京都世田谷区の阿部力也区議(45)を強制わいせつ傷害容疑で同日中に書類送検する方針を固めた。

議は統一地方選期間中の昨年四月下旬、世田谷区内の事務所、選挙運動を手伝っていた三十代の女性にわいせつな行為をし、けがをさせた疑い。女性が告訴、同署が捜査していた。阿部区議は民主党の小沢一郎代表の秘書を経て、一九九九年に世田谷区議に初当選し三期目。今年二月に民主党系の会派を辞めていた。

年が明けたら今度はこの騒ぎ。

●選挙から1年もたたないうちに不祥事でマスコミをにぎわせている世田谷区議会議員●ともに民主党公認で当選した。一人は結局辞職した●もう一人は病気を理由に雲隠れしている●区議会では私も含めて彼に同情する議員はいない。そもそも民主党会派が早々に彼を見限って“サヨナラ”したくらいである●記事の内容とは別に昨年、ある女性議員が彼のことを議会で取り上げたことがある。その直後にすごい剣幕で反論したことを覚えている。俗な表現で言えば“キレやすい”●それにしても予算委員会の委員でありながら“全休”である。身に覚えのないことなら「説明責任」を果たすべきで、もしマスコミから隠れるために大切な予算委員会を“全休”したとすれば大変なことである。